



群馬県立がんセンター

# 消化器外科通信

Vol.4  
2020.11.



## 消化器外科部長 尾嶋 仁

COVID-19と共存する生活が始まり、当センターでも患者さんを安全に受け入れる万全な体制が整っています。病院に行くのを控えていた人も、症状があれば病院受診を躊躇無く行ってください。症状がなくても検診の重要性、必要性を再確認して頂きたいと思います。

今回の外科通信では、群馬県立がんセンターにおける手術支援ロボット(ダビンチ)の現状と集学的治療(内視鏡、手術、薬物療法、放射線療法などを組み合わせて行う治療)が必要な胃がん治療について紹介したいと思います。

### ～COVID-19に対する対応～

**手術、外来診療(定期経過観察の間隔)、化学療法は通常通り施行しています。**

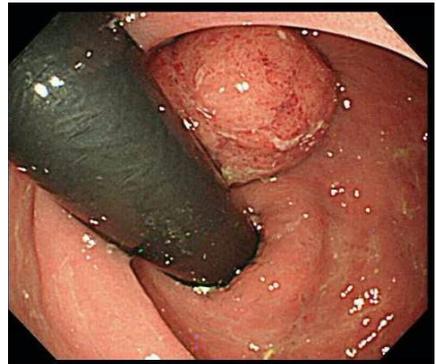
## 1. 手術支援ロボット ダビンチ手術の現状

手術支援ロボット ダビンチ手術は2019年9月より開始し、現在までに(2020年10月)食道がん:18例(2020年11月より開始)、胃がん:14例(2020年2月より開始)、直腸がん:61例に施行しました。食道がん、直腸がんでは、手術適応症例は全例、胃がんでは、鏡視下手術に代わってダビンチ手術を行なっています。

直腸は骨盤の深い部位に位置しており、手術の難易度が高くなっています。ダビンチ 特徴である鮮明な3D画像、手振れ防止機能つき自由な角度に動く手術鉗子などの機能が発揮できる領域です。現在、直腸がん手術の約50.8%が下部直腸Rb領域です。歯状線から腫瘍下端までの距離は平均2,8cmと低く、肛門括約筋内のDST(自動吻合)を行なっています。周囲への浸潤がなければ全周性でも化学療法後でも同様に行っています。以前では永久的な人工肛門になる症例です。歯状線にかかる腫瘍ではダビンチ手術でISRを行なっています。一時的な人工肛門を造設しない取り組みを行っていましたが、縫合不全率が14%と高くなったため(Ra,Rs領域での縫合不全率は3.3%) (NCD 2019年データでは直腸全体で縫合不全率9.7%)、現在はICG蛍光法を用いた血流確認と、一時的に人工肛門を造設し縫合不全減少に取り組んでいます。

### 症例提示

45歳 男性 (ECOG PS=0) BMI 40 (高度肥満)  
既往歴: DM 脳梗塞  
Rb 直腸がん 腫瘍下端 AV2cm I型腫瘍  
組織型 Adenocarcinoma (tub2)  
TNM分類 cT1b N0 M0  
ロボット支援下SLAR D3 一時的人工肛門造設



【大腸内視鏡】



【CT】



【高度肥満でもIMA根部血管処理】



【前立腺との間を剥離】



【摘出標本】

群馬県立がんセンターホームページに動画“手術支援ロボットダビンチXiの実力”をUPしました。是非ご覧ください。

<http://www.gunma-cc.jp/pages/4/138/156/>

## 2. 胃がん

胃がん治療には、内視鏡治療、手術、薬物療法があります。消化器外科ではガイドラインに沿って手術を行います。鏡視下手術は、比較的早期の胃がん(胃癌治療ガイドラインではstage I A～I B)に適応を限定して行っているのが現状です。この症例を現在ダビンチ手術で行っています。

切除不能の進行胃がん症例に化学(放射線)療法が奏効し、遺残のない治癒切除が可能と判断され、外科的治療に治療方針が変更(convert)されることをconversion therapyと呼びます。消化器内科と協力してconversion therapyも増加しています。当センター消化器内科(保坂尚志医師 消化器内科・内視鏡部長)では、臨床試験も含めてニボルマブ(オプジーボ)治療を60例以上行っています。

### 症例提示

77歳 男性 (ECOG PS=0)

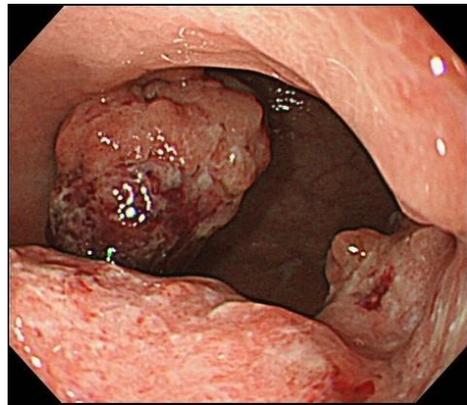
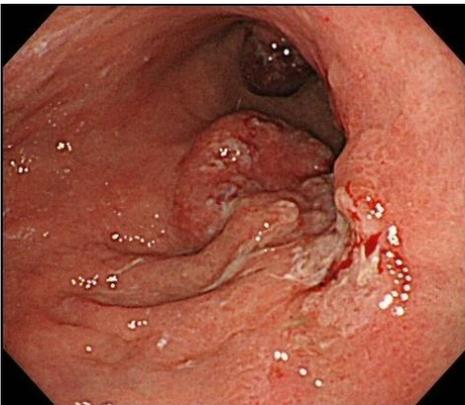
切除不能進行胃がん

組織型 Adenocarcinoma (tub2) /HER2陽性

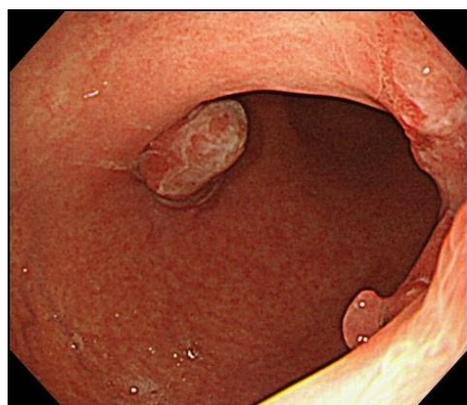
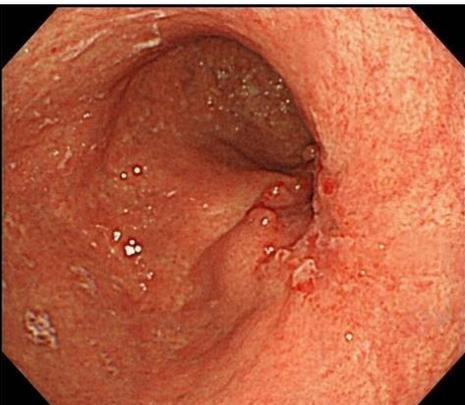
TNM分類 cT4aN2M1HEP

前治療 SOX→PTX/RAM→Nivo→Cape/trastuzumab

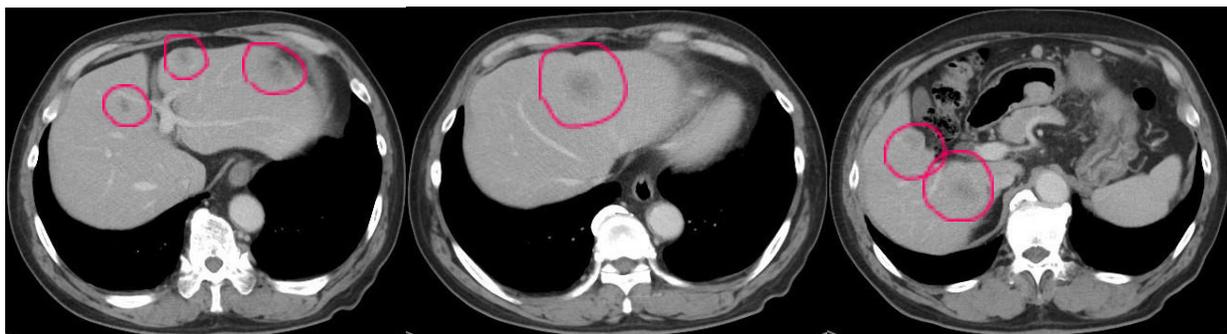
〈ニボルマブ治療前〉



〈ニボルマブ治療後 約1年後〉



〈ニボルマブ治療前 CT〉

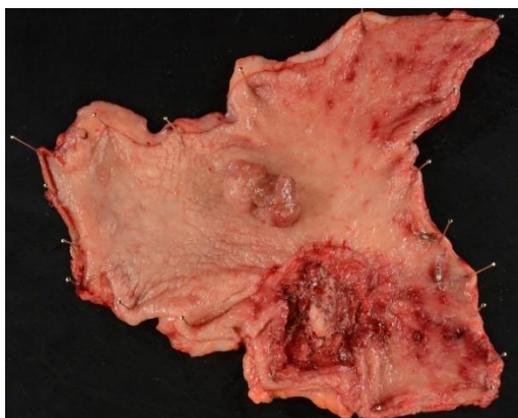


〈ニボルマブ治療後 CT〉

肝転移消失



Conversion surgery DG, D2+B1



Tubular adenocarcinoma (Tub2)  
pT3 (SS) Ly1a V0 PM0/DM0 N1 (1/31)

胃がんの治療は、集学的治療です。  
当センターでは、豊富な薬物治療の経験を生かして手術療法と連携して治療を行なっています。

・ 診療予約等につきましては当院ホームページをご覧ください

URL: <http://www.gunma-cc.jp>  
TEL: 0276-38-0771 (代)

予約専用電話: 0276-38-0762